

野菜増産への支援（ブロッコリー）

ねらい

野菜生産の拡大を図るため、平成28年度を目標に野菜増産「1000ha」計画を推進しています。このうちブロッコリーは全県下で増産を目指す主要品目となっており、関係機関が一体となって、各地域での課題解決に取り組みながら産地の振興や育成に向けて活動するとともに、全県的な支援活動を実施して、ブロッコリーの安定生産と増産を目指します。

活動地域・対象

地域：県内全域

対象：ブロッコリー生産者、JA、全農とくしま、各農業支援センター・研究課等の県機関

普及活動の目標

- 産地の拡大・強化の支援
 - ①ブロッコリーの増産面積（県内全域） 56ha
 - ②新栽培技術の普及 実証展示ほ 3カ所

目標に向けた活動概要

- 1 地域に適した品種選定等のために展示ほの設置を支援するとともに、現地検討会の開催しました。
- 2 新技術「2花蕾どり栽培」の実証展示ほの設置を支援しました。（写真1）
- 3 重点防除病害である「根こぶ病」対策技術の情報共有のため情報交換会を開催しました。
- 4 昨年度、一部地域で害虫「コナガ」が多発したため、県担当者やJA営農指導員を対象にした情報交換会の開催し、発生要因の分析と適正防除方法の情報を共有するとともに、多発地域にフェロモントラップを設置して発生状況を調査しました。（写真2）



写真1 2花蕾どりの側花蕾



写真2 コナガの成虫

普及活動の成果

- 1 ブロッコリーの増産面積 38 ha (達成率68%)
- 2 新品种・栽培技術展示ほの設置
県下各地で、「地域に適合した品種選定」、「根こぶ病耐性品種選定」、「中山間地域の初夏どり栽培」の展示ほ5カ所を設置し、適正品種を選定しました。
- 3 ブロッコリー担当者会の開催
関係者の課題解決のための情報交換会、研修会を6月と9月に開催しました。
- 4 害虫「コナガ」対策
 - ①生産者へ配布するブロッコリーの栽培基準に効果の低減が認められた薬剤に対してコナガを対象害虫から外すことを記載して、生産者への周知を図りました。(2,300部作成、配布)
 - ②コナガ被害軽減のため、昨年度の多発した地域6カ所にフェロモントラップを関係機関と協力して設置し発生状況調査を実施しました。コナガの発生を確認しましたが、被害状況は昨年度に比べて大幅に減少しました。
- 5 増産対策「2花蕾どり栽培の普及」
2花蕾どり栽培技術の実証展示ほを県下3カ所に設置し、支援を図りました。
実証展示ほの一部に、頂花蕾が不整形になる症状がみられました(写真3、4)。
調査結果は次年度の5月に明らかになります



写真3 2花蕾どり実証展示ほ場



写真4 2花蕾どりの不整形花蕾

用語説明	2花蕾どり栽培技術：品種「グランドーム」を11月上旬に定植し、12～3月まで不織布で被覆することで、販売価格が高い4月に頂花蕾が収穫できます。更に5月に頂花蕾と同等の側花蕾（2花蕾目）が収穫できることから、通常の2倍程度の収量が見込めます。
------	--

今後の発展方向

- 1 引き続き関係機関と協力しながら、ブロッコリーの安定生産、産地拡大を図ってまいります。
- 2 2花蕾どり栽培技術の現地適応性を明らかにして、現場への普及を目指します。

関係者からの声

○2花蕾どり栽培は価格の高い時期の収穫が期待できるので、取り組みたい。(生産者)

農林水産総合技術支援センター高度技術支援課

連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660 tel：088-674-1922